

福祉サービス 自己評価結果表

自己評価年月日 平成30年 4月 1日

法人名(事業者名) 社会福祉法人 慈 恵 会

施設名(事業所名) 旭ヶ丘保育園

担当者 園長 中島 睦世

福祉サービス自己評価票

I 子どもの発達援助

項目	細目	内容	自己評価				評価の理由
			a	b	c	d	
1	(1)	全体的な計画が、保育所保育の基本原則に基づき、さらに子どもの発達過程を踏まえて、保育の内容が組織的・計画的に構成され作成されている。	○				<p>(ア、イ、ウ、エ、オ)</p> <p>全体的な計画は保育理念、保育方針に基づき全職員参加で編成され子どもの家庭の状況、地域の実態、保育時間、保護者の意向などを考慮している。又、市民センターや地域医療機関等と情報交換を行う、アンケートや意見箱で保護者の意向を聞くなど意向を考慮し、ボランティア活動や年長者との交流会など様々な独自の取組を行っている。子どもの健康及び安全確保について保健計画、食育計画の作成、全体的な計画の見直しを年度末に行い、全職員に配布し周知徹底を図っている。</p>
	(2)	子どもの生活や発達を見直した長期的な指導計画と、より具体的な日々の生活に即した短期的な指導計画が作成されており、さらに定期的な評価が行われ、指導計画を見直している。		○			<p>(ア、イ、ウ、オ、カ) エ</p> <p>指導計画はクラスの状況、他クラスとの連携を踏まえ全体的な計画に基づきクラス担任が話し合いの上で編成している。また、3歳未満児は個別的な指導計画を作成、一人一人の子どもの生育歴、心身の発達、活動の実態等に即し個別計画を立てている。</p> <p>見直しについては、月毎に評価・反省を行い、施設長の助言・指導を受け次の計画に反映している</p>

項目	細目	内容	自己評価				評価の理由
			a	b	c	d	
	(3)	一人一人の子どもについて、保育の記録が継続的に記載・管理・引継ぎされ、それぞれの子どもに関係する職員に周知されている。	○				<p>(ア、イ、ウ、エ)</p> <p>北九州市の帳票を用い記録が整備されている。記録は交代で午睡時を利用して行う。</p> <p>クラスの日誌には日々の保育実践の必要な情報が記録されており、評価反省を行い、施設長、主任の助言指導を受けて次に反映されている。</p> <p>午睡時のクラスでの話し合いにより関係する職員と情報共有し、リーダーと、関係する調理員他の職員との話し合いによりスムーズな連携ができるようにしている。</p> <p>毎月の職員会議で気になる子、個別の配慮をしている子について伝達され出席していない職員には会議記録の回覧で周知している。</p>
	(4)	一人一人の子どもの発達状況、保育目標、保育の実際について話し合うためのケース会議等を定期的かつ必要に応じて開催し、その結果を保育実践に生かしている。		○			<p>(ア、ウ、エ) イ</p> <p>毎月の職員会議で気になる子や、個別の配慮をしている子について各クラスから伝達をし意見交換を行う機会を設けている。</p> <p>クラスリーダーから関係職員に口頭で伝達を行い、また会議記録も回覧し徹底している。</p> <p>必要に応じて保護者や専門機関との連携を図っており、クラス担任だけでなく施設長・主任とも話し合いながら適切な配慮がされた上での連携ができている。定例会議以外での話し合いの記録を徹底していく。</p>

項目	細目	内容	自己評価				評価の理由
			a	b	c	d	
2	(5)	子どもの健康管理について、日頃から健康対策に取組、また、発病時などのマニュアルが整備され、子ども一人一人の健康状態に応じて実施している。	○				<p>(ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク、ケ、コ)</p> <p>嘱託医とは定期健診や受診時など、その時期の感染症や健康管理についてのアドバイスを受ける等、常に連携を図っている。</p> <p>健康管理マニュアルを整備し、登園時や保育中の健康状態の観察や対応などが細かく示されている。</p> <p>健康について指導計画に位置付け取り組んでいる。</p> <p>マニュアル検討やガイドラインの確認などを定期的に行い、また実際の対応などはOJTや園内外の研修などで学び、研修報告などで共有している。</p> <p>伝言ノートその他、疾病連絡記録が整備され、子どもの状態や保護者への伝達など記録している。</p> <p>緊急連絡カードは整備され、保育室の引き出しに管理しすぐに取り出せるようになっている。</p>

項目	細目	内容	自己評価				評価の理由
			a	b	c	d	
2	(6)	健康診断・歯科検診の結果や子どもの発達発育状況について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	○				<p>(ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク)</p> <p>健診結果は口頭で保護者に伝達。健診結果で特に注意が必要等の場合は、担任からの口頭連絡と事務室に置いている伝達ノートで全職員に知らせ、保育にも反映させている。園医から必要なアドバイスを受けたり、受診勧奨や子育て相談など必要な措置を話し合っている。</p> <p>身長・体重など定期的に測定し記録し発育の状況を把握している。</p> <p>経過観察の必要な子については受診後の状況や、家庭での食や行動などについての聞き取りや情報交換を行うなどの協力をしている。</p> <p>母子手帳で健診の受診状況を確認している。入園後は健康診断結果や、予防接種を受けたなど伝えてもらうようお願いしスムーズに把握ができています。再診の指示があった場合も保護者から再診結果を聞き取り把握している。また、保健調査票を毎年1回提出してもらい状況把握を徹底している。</p>

項目	細目	内容	自己評価				評価の理由
			a	b	c	d	
2	(7)	感染症への対応については、マニュアル(基準)などがあり、発生状況を必要に応じて保護者に連絡している。	○				<p>感染症マニュアルを整備している。</p> <p>感染症が疑われる子どもは事務室で保育し他児への感染予防に配慮している。</p> <p>感染症発生時は、クラス前や掲示板に日にち、クラス名、感染症名、人数を掲示し知らせている。また、感染症が疑われる子には「連絡票」を用いて、クラスで発生している感染症名と本児の様子を診療の参考となるよう伝えている。</p> <p>感染症のめやすと対応については「北九州市医師会園医会」と「北九州市保育所連盟」と「北九州市」が協議した「保育所、幼稚園における病気の取り扱い」で示してあるものに基いて、職員に周知、事務室などに掲示している。発生し対応が必要な場合は、関係機関や園医と連携し、北九州市の指示に従い対応している。</p> <p>病休後の登園は保護者が記入する届出書で、いつから良いのか、どこかの医療機関で登園許可がでたのか確認している。また登園時は保護者から子どもの状態を詳しく聞き取っている。</p> <p>予防接種についてのポスター掲示や声掛けなどで接種を促している。</p> <p>園医や北九州市からのポスターやお知らせを掲示・配布したり、流行期に園だよりで啓発するなどして予防に努めている。</p>

項目	細目	内容	自己評価				評価の理由
			a	b	c	d	
2	(8)	アレルギー疾患のある子どもの除去食について、かかりつけ医から指示があった場合、状況に応じて適切な対応を取っている。	○				<p>(ア、イ、ウ、エ、オ カ)</p> <p>アレルギー食対応マニュアルを整備している。</p> <p>医師からの診断書、指示書等を提出してもらい、四者協議を行った上で対応し、不明な部分はおかかりつけ医に確認を行うなど間違いが無いように努めている。</p> <p>また、アレルギー食の対応は、除去や代替食品、弁当持参など個別に記録をしていて、食べられるようになった物は解除届を提出してもらい提供間違いがないようにしている。</p>

項目	細目	内容	自己評価				評価の理由
			a	b	c	d	
2	(9)	給食・おやつ提供にあたっては、日々の献立を保護者に示すとともに、必要に応じて子どもの喫食状況を保護者に連絡している。	○				<p>(ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ)</p> <p>献立は全ての世帯に配布している。また、玄関に展示ケースを設置し、献立や量など確認できるようにしている。</p> <p>喫食状況は0、1歳児については連絡帳に毎日記入し、その他の子どもについては変化があった日は口頭で伝言している。</p> <p>偏食の多い子どもは、子どもの気持ちを尊重し保護者と協力しながらその改善に取り組み、無理なく食べられるように進めている。</p> <p>切り方、大きさ、味付け、量など発達や年齢、体調などに応じた提供を行っている。</p> <p>食育だよりを毎月掲示。レシピや食についての情報提供を行っている。</p> <p>保護者が参加しやすいよう、保育参加後に給食試食会を開催し全保護者に参加してもらっている。試食会では私設長と調理員が各部屋を回り、子どもの食事について話を保護者に行っている。</p> <p>調理員は毎日、全クラスを訪問し三角食べや箸の持ち方、野菜の話などしながら喫食状況を確認し、喫食状況を給食日誌に記載している。</p>

項目	細目	内容	自己評価				評価の理由
			a	b	c	d	
2	(10)	食事を楽しむことができる工夫をしている。	○				<p>(ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク、ケ、コ、サ、シ)</p> <p>テーブルを並べ替えたりして環境を切り替える。音楽を流す、ランチョンマットを使用するなど楽しい雰囲気に配慮して食事ができる環境を整える。</p> <p>食器は強化陶器を使用し、年齢に合わせた大きさ・重さ・持ちやすさなど考慮し、またメニューによって食器を使い分ける等の工夫もしている。</p> <p>日頃の喫食状況から量を加減し、おかわりができるように準備して完食する喜びが味わえるよう配慮している。</p> <p>また、大きさにも気をつけ食べやすさや、しっかり噛めることにも留意し提供している。</p> <p>未満児については最後まで自分で食べようとするなど意欲を大切にする。</p> <p>保育士と一緒に食事をしたり、介助しながら声掛けをしたりして食事を楽しめるようにしている。遅くなった子は1テーブルに集め安心して食べられるようにし、他児はコーナーで絵本読みができるようにするなどしている。</p> <p>調理室のカウンターは透明板にし、調理を行っている様子を見学でき、窓になっているので話しかけたりできるようになっている。</p> <p>年に1回バイキング形式の合同の食事会を楽しむ。また遠足や桜の季節には園庭や廊下、テラスで食事をするなどの機会も設定している。</p> <p>3歳以上児は野菜の栽培を行い、収穫し、味わう体験をしている。また当番活動を取り入れ、配膳や片付けなど参加している。</p> <p>年長児はホットケーキ作りを体験。全園児、もちつきに参加し、以上児はつくだけでなく、餅を丸める体験もする。</p> <p>こぼれても気にならないようシートを敷き、エプロンをするなどして食べこぼしに配慮。褒めたり美味しいねと声を掛けたりして、食べることに意欲を持てるよう働きかけている。</p>

項目	細目	内容	自己評価				評価の理由
			a	b	c	d	
3	(11)	子どもが快適に過ごせ、保育の場にふさわしい環境になるよう取り組んでいる。	○				<p>(ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク、ケ、コ、サ、シ)</p> <p>施設長または主任が毎朝園内外の点検を行っている。</p> <p>保育室、廊下、トイレ、手洗い場園庭は1日1回以上の清掃を行い清潔に保たれている。室内には温湿度計が置かれ定期的に換気をしている。トイレや手洗いは臭いがしないよう脱臭剤を置いたり換気扇を回したりし、アルコール消毒をマニュアルにそって行っている。</p> <p>寝具・玩具はマニュアルにそって天気の良い日に日光消毒を行い、定期的に洗濯や消毒を行っている。</p> <p>年齢に合ったオマルや便器を利用し、合同保育児等の混雑しそうな場合は時差でトイレに誘うよう工夫している。</p> <p>コーナーにマットや畳、手作りの仕切りなどが設置され思い思いにくつろげるようにしている。</p> <p>0、1歳児クラスにはベッドが置かれ、2歳児クラスもコーナーで安心して眠れるよう環境を整えている。</p> <p>園庭には季節の花や樹木があり式を感じられる。またメダカや熱帯魚、の生き物が飼育されている。鯉のぼり、七夕飾り、ひな人形などその時期ならではの物が飾られている。</p> <p>砂場の消毒や入れ替えは定期的に行っている。</p> <p>園外保育では近隣に公園や電車などがあり楽しめる環境あり、当日、職員が下見を行うなど安全に配慮している。</p>

項目	細目	内容	自己評価				評価の理由
			a	b	c	d	
4	(12)	子ども一人一人への理解を深め、受容しようと努めている。	○				(ア、イ、ウ、エ) 常に子どもの気持ちに寄り添った保育を心掛け、その保育実践において受容、共感を忘れず常に子どもに視点をあてる保育を心掛けている。 子どもからの語りかけに対して、子どもの目線の高さまで姿勢を低くし話をきくよう、また、入職する保育士、保育士以外の職員にも「入職のしおり」で基本的な子どもとの関わりの姿勢を徹底している。
	(13)	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人一人の子どもの状況に応じて対応している。	○				(ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク、ケ、コ) その子の生活リズムに合わせてトイレに誘ったり、自分でしようとする気持ちを育むことを計画に位置付け実践している。休息(午睡)時間は優しい音楽を流したり、背中をさするなどしてスキンシップをとり入眠できるようにする。。必要としない子も安心して過ごせるようにする。 交通安全教室を行ったり、日常の中で廊下は走らない、保護者と手をつないで道路を歩くなどの指導を年齢に応じた方法で行っている。
	(14)	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	○				(ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク) 玩具や絵本などが自由に取り出せるように配置していて、自発的な遊びが展開できるようにしている。 自由遊びの時間を設けていて、テーブルやマット等を利用してコーナー分けをして好きな遊びに集中できる、また園庭で異年齢の子ども達とも遊びを楽しめるようにしている。 子どもの興味関心から環境構成をし、子どもが楽しんで意欲的に取り組めるようにしている。 玩具、絵本、教材の選定はリーダーが話し合いながら行う。

項目	細目	内容	自己評価				評価の理由
			a	b	c	d	
4	(15)	身近な自然や社会と関われるような取り組みがされている。	○				<p>(ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク) 野菜の水やりやメダカのエサやりなどを子どもが行っている。夏はセミの観察、秋は園庭で拾い集めたどんぐりや落ち葉などで製作を楽しむなど四季を通じて自然と関われるような保育を実践している。</p> <p>園外保育や地域の高齢者施設や市民センター、小学校、保育園等との交流で地域の方と交流する機会を持っている。以上児の遠足ではバスに乗り水族館の見学に行くなど社会体験の機会を設けている。</p> <p>地域の清掃活動や牛乳パックのリサイクル等のエコ活動を行う、エコ学習を行うなど資源や環境に関心を持てるようにしている。</p>
	(16)	表現する喜びが味わえるように配慮されている。	○				<p>(ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク、ケ、コ) 製作を楽しみ音楽に親しむよう計画されている。3歳以上児はクレヨンなど自分の用具が準備されていて自由に使うことができる。</p> <p>また自分なりに表現したことが、尊重され認められることで次への意欲に繋がっている。</p> <p>行事では保育士や友だちと協力しあい作っていくことを喜び合えるよう適切な関わりを行っている。</p> <p>活動の節目など、絵本の読み聞かせを多く取り入れている。</p>

項目	細目	内容	自己評価				評価の理由
			a	b	c	d	
4	(17)	遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。	○				(ア、イ、ウ、エ、オ、カ) 異年齢児との交流や小学生、年長者との交流など指導計画に位置付けている。 適切な人間関係が築けるよう保育士が仲立ちとなったり、必要な約束事を伝えたり、子どもと一緒にルールを考えたり、集団生活の中で他者と関わり社会性を身に付けられるようにしている。
	(18)	子どもの成長・発達に応じて、言葉を獲得していけるように配慮している。	○				(ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク) 誕生会のインタビューやクラスの中で発表の場を設ける等、自分の思いを言葉で表すために必要な配慮や援助をしている。保育士等や友だち同士で会話を楽しむ機会を作っている。保育士等は常に子どもの間いかけや話しかけに対して、適切に対応している。
	(19)	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。					(ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ) 絵本、DVDを利用した人権学習や御仏様の集いにより文化の違いを認める心、互いを尊重する心を育んでいる。また、保護者にも掲示により啓発を行っている。 職員は年間計画に位置付けた人権についての園内研修を行い、子どもの人権、権利擁護、異文化理解等について学びを深めている。

項目	細目	内容	自己評価				評価の理由
			a	b	c	d	
4	(20)	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。		○			(ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ) 行事においても性別に関係なく自分のしたい役を希望するようにしている。当番活動も男女の別なく、またどういう役割でも行うようにし性差による先入観を持たないよう工夫している。人権学習や絵本読み聞かせでは服装、態度、遊び、職業など性差による先入観を持たないよう学んでいる。 職員も人権学習において性差や役割分業意識について学んでいる。 保護者に対しては、劇の役など男女の別なく子どもの意思を尊重することを伝えるなどして理解を促し、啓発にも繋げている。
	(21)	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	○				(ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク、ケ、コ、サ、シ、ス、セ、ソ、タ、チ) 乳児保育経験のある保育士を必ず配置しており、家庭との緊密な連携のもと、特定の保育士が応答的にかかわり個々の状況に応じた保育を行っている。 清潔な保育室で探索活動が安全に行えるよう環境設定をしている。 SIDS防止のため呼吸チェックを行い、仰向け寝などに配慮している。 職員は乳児保育研修に参加し、研修報告を通して全職員が共通理解している。

項目	細目	内容	自己評価				評価の理由
			a	b	c	d	
	(22)	延長保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	○				<p>(ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク)</p> <p>延長保育用の玩具や絵本が用意され、異年齢の子ども同士でも自由に遊ぶことができるよう配慮している。</p> <p>長時間に及ぶ保育時間のため、子どもの甘えたい気持ちを受けとめスキンシップを取るなどして安心できるようにする。</p> <p>クラスの伝言ノートを用いて引継ぎ漏れが無いように留意している。</p> <p>延長保育時も日毎に保育の内容が設定されている。</p>
	(23)	障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。		○			<p>(ア、ウ、エ、オ、カ、キ、ク) イ</p> <p>30年度障害児の受け入れはない(29年度5年4ヶ月在園した児童卒園する)が受け入れ要請があった時は体制はある。</p> <p>統合保育を行い、障害のない子が障害について理解を深め、健全な発達を図るため配慮している。</p> <p>バリアフリーへの取り組みは長期計画に位置付けている。平成30年度未満児(りす、こりす組)のトイレは改修予定。</p>

Ⅱ 子育て支援

項目	細目	内容	自己評価				評価の理由
			a	b	c	d	
1	(24)	保護者と日常的な情報交換、個別面談や育児相談などを行い、保護者との相互理解を深めている。					(ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク) 登園時は必ず保護者から子どもの状況について聞き取りを行っている。降園時も口頭で1日の様子を伝えたりして情報交換をする。未満児は連絡帳を毎日やりとりしている。年に2回、個人懇談会を実施し、保護者と様々な話ができる機会を作っている。懇談内容は記録され卒園まで引き継がれるようにしている。保護者参加の行事は4月に年間予定を知らせ参加しやすいように配慮している。また、運動会やもちつき会などは父親も参加しやすいよう声掛けを行うなどして働きかけている。保護者が相談しやすい雰囲気を感じられるよう、職員は日頃から挨拶や声掛けなど積極的に行っている。
	(25)	虐待を受けたと思われる子どもの早期発見に努め、保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に通告・相談を行う体制が整っている。	○				(ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ) 虐待防止マニュアルを整備し、虐待の定義や早期発見のポイント、通告の流れなど全職員が把握している。また、毎月の職員会議でクラスの状況を報告し合っている(虐待を疑われる子どもについては見守りをしている・記録有) 虐待に関する研修に職員が参加し、研修報告会で共通理解を図っている。

項目	細目	内容	自己評価				評価の理由
			a	b	c	d	
2	(26)	育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みが行われ、保育所を開放している。					(ア、イ、ウ、エ、カ、キ、ク、ケ、コ、サ)オ 未就学の子どもを対象に子育て広場を開催し、絵本コーナーを開放したり、保育を体験する中で子育て相談に応じたりして支援している。 子育てについての講座などのポスターを掲示する、ブログで公開するなどして子育て情報などの提供を行っている。 相談員研修や子育て支援員養成研修などに職員を参加させ、子育て相談に応じる人材育成を行っている。 地域の子育てサークルに保育士を派遣し支援を行っている。 児童委員、民生員、小学校などとの連携を通して地域の子どもの虐待や気になる子について情報を収集し、必要に応じて情報交換、見守りなどを行っている。
	(27)	一時保育は、一人一人の子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。					非該当

Ⅲ 地域の住民や関係機関等との連携

項目	細目	内容	自己評価				評価の理由
			a	b	c	d	
1	(28)	地域における保育所の役割を果たすため、地域の関係機関などの必要な情報を収集し、それを保護者等に提供するとともに、職員が共有している。		○			(ア、イ、ウ、エ) 地域市民センター、社協、自治会の方々を行事に招く、地域行事に参加するなどして交流を図り、地域の福祉ニーズについて聞き取りを行う。地域の関係機関、団体などから情報を収集し、提供された情報を分かりやすく分類し、自由取りや全世帯へ配布するなどしている。園児の保護者等だけでなく地域の子育て家庭へも子育て広場参加時のお土産として情報を提供している。 必要な情報は口頭や伝達ノートと、会議等で職員に周知されている。
	(29)	保育所での育児相談や行事など保育所運営に当たって、関係機関や団体などと連携した取り組みを行っている。		○		(ア、イ、ウ、エ、オ、カ) 子総や療育センターと連携し、障害のある子や気になる子についての情報交換を行っている。 発達、発育について気になることがある子について、区役所や保健師と連携し健全な発達が促されるよう支援を行っている。 市民センター館長、主任児童委員に一日保育士体験として保育に参加してもらい、また、運動会等の行事に参加してもらいなどして保育園について理解を深めてもらっている。 地域行事に参加したり、エコ活動や清掃活動の時には市民センター職員の協力を得ている。 地域子育てサークルに保育士を派遣し育児支援を行っている。 今後は大規模災害時などに協力し合える体制作りをしていきたい。	

項目	細目	内容	自己評価				評価の理由
			a	b	c	d	
	(30)	「小学校、他の保育所(幼稚園)」との間で、小学生と園児、園児同士が行事などで交流する機会を設けており、職員間の話し合い、研修など連携の機会がある。	○				<p>(ア、イ、ウ、エ、オ、カ)</p> <p>連携担当者を選任し小学校や他園との交流につて連絡調整を行っている。</p> <p>交流機会を計画に位置付け定期的な交流を行っている。</p> <p>小学校の教員を一日保育士体験に招き保育や子どもの状況を知ってもらい、また、年度末には要録の他、連絡会に参加し連携を図っている。</p> <p>小学校の校長を保育参加に招き、終了後は連携についてや地域の状況についての情報交換を行っている。園の職員も小学校の行事に参加している。姉妹園との交流を計画に位置付け定期的な交流を行っている。姉妹園の運動会、遊戯会に園長や職員が参加している。</p> <p>保幼小連携担当は主任保育士。</p>
	(31)	近隣の住民に対し、保育について理解を得るための取り組みを行っている。	○				<p>(ア、イ、ウ、エ、オ、カ)</p> <p>園外保育などでは子どもと職員が積極的に挨拶をしコミュニケーションを図っている。職員は保育園周辺で顔を合わせた人には積極的に挨拶するようにしている。</p> <p>夕涼み会、もちつき会など近隣住民を招待し交流を図っている。</p> <p>運動会などの行事予定を掲示板で知らせたり、正面の方には口頭で伝えたりして理解を得ている。</p> <p>駐車に関して、業者には取引開始時にマナーを守るよう口頭でお願いしている。保護者には入園のしおりで駐車マナーについてお願いしている。必要に応じて声掛けや掲示などを行っている。</p> <p>地域の清掃活動を定期的に行っている。</p>

項目	細目	内容	自己評価				評価の理由
			a	b	c	d	
2	(32)	<p>実習生や保育体験、ボランティアの受け入れについて、受け入れの意義や方針が全職員に理解され、担当者も決められている。</p>	○				<p>(ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク) 受け入れマニュアルを整備し、全職員に周知徹底されている。 担当者とのオリエンテーションを行い園の状況について説明したり、実習の内容について説明したりしている。 園だよりには実習生の受け入れについて記しており、保護者へ周知されている。 実習生については反省会の場が設けられ担当職員、、主任等と話し合う場が確保されている。 また、指導担当者を知らせ必要に応じて話す機会を持つようにしており、担当者からも話しかけやすいよう声掛けを行っている。 必要な研修に職員が参加し、研修報告により職員に共有されている。</p>

IV 運営管理

項目	細目	内容	自己評価				評価の理由
			a	b	c	d	
1	(33)	保育所の保育理念と基本方針が明文化され、職員、保護者、関係者に周知するための取り組みを行うとともに、中・長期計画が策定されている。	○				(ア、イ、ウ、エ、オ、カ) 明文化されている。周知のため園内外に掲示し、職員には配布している。また、中長期計画を策定しており、事業計画に反映している。
	(34)	保育の質の向上や改善のための取り組みを、職員参加により行っている。	○				(ア、イ、ウ、エ、オ、カ) 毎月の職員会議において職員からの意見聴取を行っている。 保護者の要望・意見に応じリーダー会議を開くなど適宜対応している。 各自の自己評価を行い、園の自己評価を各クラスリーダー、施設長、主任が参加して行う。 必要に応じてアンケートを行い保護者の意向を把握し、結果報告を行っている。
2	(35)	職員の研修ニーズを把握し、適切な研修機会を確保するとともに、研修の成果を全職員が共有できるよう努めている。					(ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ) 職員の研修希望を聞き、個人別研修計画を立て研修に参加させたりOJT、OFF-JTを行ったりする。 人事記録が整備され、研修参加状況が記録されている。 園内研修計画が策定され実施されている。必要に応じて内容の見直しも行っている。 研修報告会を開催し、内容を共有している。 研修計画を立てる際に、研修成果の評価を行い次の計画に反映している。

項目	細目	内容	自己評価				評価の理由
			a	b	c	d	
3	(36)	情報の管理に関する規定が定められており、その内容が職員に周知されている。					(ア、イ、ウ、オ、カ、キ)非該当 エ 守秘義務マニュアル、個人情報保護規程、コンピューター管理規程等、必要な規定が整備され周知されている。年に1度は守秘に関する園内研修を行っている。 人権に関する研修に職員を参加させ、研修報告会で共有している。
4	(37)	保育所運営に理解や協力を得るための情報提供に積極的に取り組むとともに、提供に当たっては分かりやすく伝える工夫を行っている。	○				(ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ) 保護者に園だより、クラスだより、給食だよりなど配布したり掲示したり、HPで知らせる等して分かりやすく伝えている。 見学希望は全て受け入れ、園のパンフレットや子育て広場の案内を渡したり必要なチラシや情報誌を配布したりしている。 HPを通じて園内外の人にも行事や園の様子を公開している。 園の運営状況はいつでも公開できるようになっている。財務諸表などはHPで公開している。 入園のしおりを用いて園の保育内容、行事などについて説明を行っている。
5	(38)	安全・衛生管理などに関するマニュアルなどが整備され、その内容を踏まえた取り組みがなされている。	○				(ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ) 給食、食中毒防止、不審者対応、事故対応、災害対応などのマニュアルを整備し全職員周知徹底されている。 事故や災害、不審者を想定した訓練を定期的実施している。 不審者や交通事故、災害に関して等、警察や消防と連携し訓練に助言をもらうなどして取り組みを行っている。園の立地や体制などを考慮し安全管理、危機対応の体制整備を行っている。